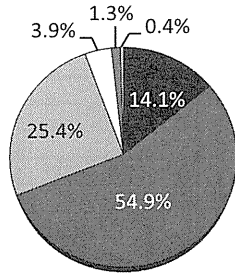


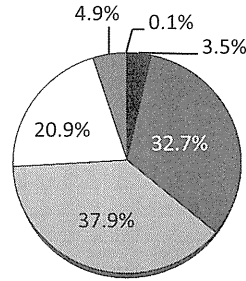
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

関連分野の論文・報告書などからエビデンスに基づく情報を入手し、活用する〔院生用 問9、初任者用 問13〕

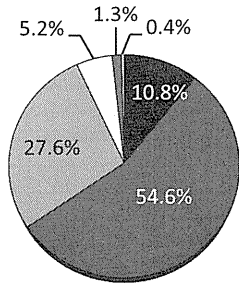


回答	%
十分ができる	14.1
できる	54.9
どちらともいえない	25.4
できない	3.9
全くできない	1.3
無回答	0.4

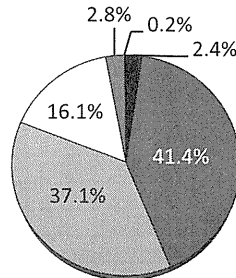


回答	%
十分ができる	3.5
できる	32.7
どちらともいえない	37.9
できない	20.9
全くできない	4.9
無回答	0.1

社会における医療・栄養問題や食糧・環境問題に関する情報を集める〔院生用 問10、初任者用 問14〕

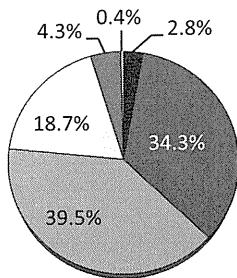


回答	%
十分ができる	10.8
できる	54.7
どちらともいえない	27.6
できない	5.2
全くできない	1.3
無回答	0.4

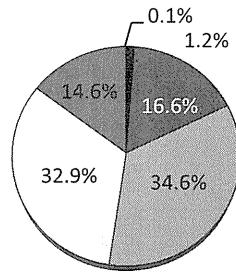


回答	%
十分ができる	2.4
できる	41.4
どちらともいえない	37.1
できない	16.1
全くできない	2.8
無回答	0.2

個人や地域の栄養課題の解決のために、調査研究を計画・実施する〔院生用 問11、初任者用 問15〕

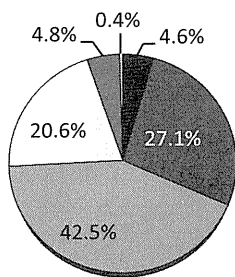


回答	%
十分ができる	2.8
できる	34.3
どちらともいえない	39.5
できない	18.7
全くできない	4.3
無回答	0.4

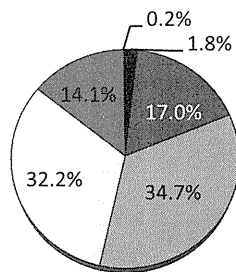


回答	%
十分ができる	1.2
できる	16.6
どちらともいえない	34.6
できない	32.9
全くできない	14.6
無回答	0.1

調査研究により得られたデータについて、適切な集計・統計方法を選択し、解析する〔院生用 問12、初任者用 問16〕



回答	%
十分ができる	4.6
できる	27.1
どちらともいえない	42.5
できない	20.6
全くできない	4.8
無回答	0.4



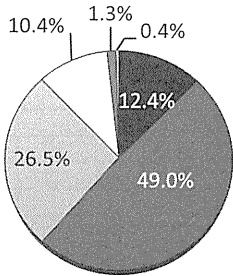
回答	%
十分ができる	1.8
できる	17.0
どちらともいえない	34.7
できない	32.2
全くできない	14.1
無回答	0.2

図4-2 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[2]

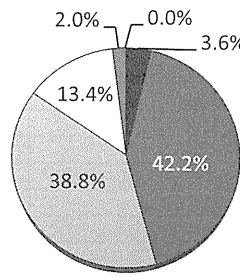
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

人体のエネルギーバランスや各栄養素の働きや代謝を理解し、説明を行う〔院生用 問13、初任者用 問17〕

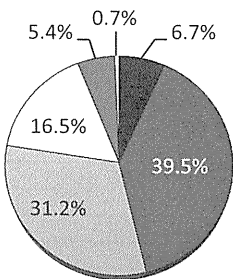


回答	%
十分にできる	12.4
できる	49.0
どちらともいえない	26.5
できない	10.4
全くできない	1.3
無回答	0.4

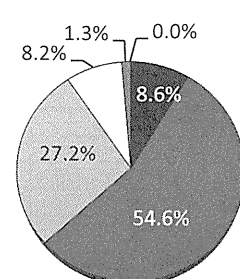


回答	%
十分にできる	3.6
できる	42.2
どちらともいえない	38.8
できない	13.4
全くできない	2.0
無回答	0.0

食品成分・特性について理解し、献立作成や調理を行う〔院生用 問14、初任者用 問18〕

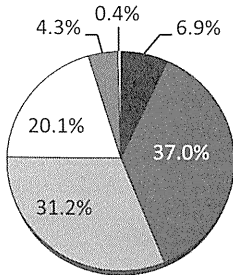


回答	%
十分にできる	6.7
できる	39.5
どちらともいえない	31.2
できない	16.5
全くできない	5.4
無回答	0.7

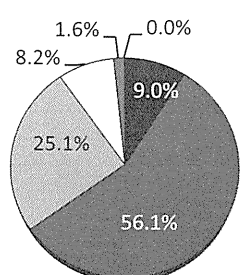


回答	%
十分にできる	8.6
できる	54.7
どちらともいえない	27.2
できない	8.2
全くできない	1.3
無回答	0.0

対象者のライフステージ・ライフスタイル・嗜好・摂食機能等に応じた献立を作成する〔院生用 問15、初任者用 問19〕

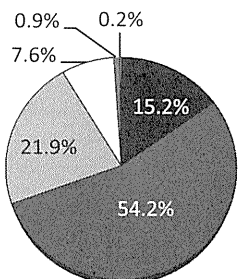


回答	%
十分にできる	6.9
できる	37.0
どちらともいえない	31.2
できない	20.2
全くできない	4.3
無回答	0.4

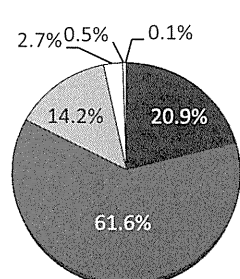


回答	%
十分にできる	9.0
できる	56.1
どちらともいえない	25.1
できない	8.2
全くできない	1.6
無回答	0.0

食中毒予防など、適切な衛生管理を行う〔院生用 問16、初任者用 問20〕



回答	%
十分にできる	15.2
できる	54.2
どちらともいえない	21.9
できない	7.6
全くできない	0.9
無回答	0.2



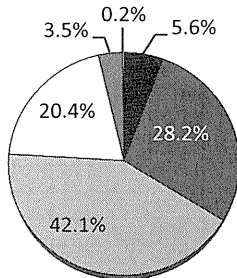
回答	%
十分にできる	20.9
できる	61.6
どちらともいえない	14.2
できない	2.7
全くできない	0.5
無回答	0.1

図4-3 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[3]

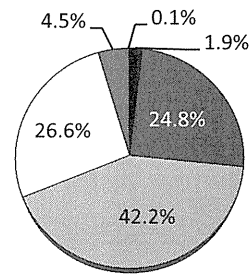
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

食品の規格基準、安全に関する法規や制度を理解し、健康被害を防止する為の説明を行う
〔院生用 問17、初任者用 問21〕

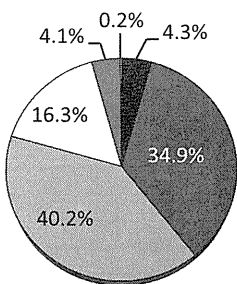


回答	%
十分にできる	5.6
できる	28.2
どちらともいえない	42.1
できない	20.4
全くできない	3.5
無回答	0.2

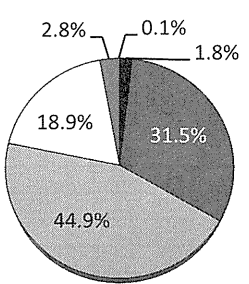


回答	%
十分にできる	1.9
できる	24.7
どちらともいえない	42.2
できない	26.6
全くできない	4.5
無回答	0.1

保健・医療・福祉・健康づくりに関する法規や制度の現状を把握する 〔院生用 問18、初任者用 問22〕

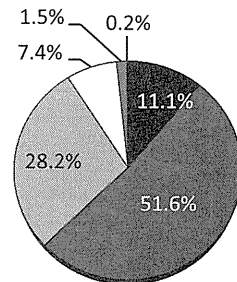


回答	%
十分にできる	4.3
できる	34.9
どちらともいえない	40.2
できない	16.3
全くできない	4.1
無回答	0.2

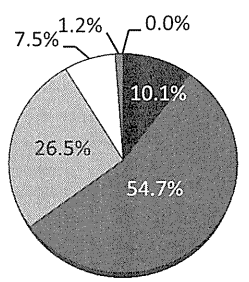


回答	%
十分にできる	1.8
できる	31.5
どちらともいえない	44.9
できない	18.9
全くできない	2.8
無回答	0.1

対象者のエネルギーや栄養素の摂取の過不足を防ぐため、食事摂取基準を活用する 〔院生用 問19、初任者用 問23〕

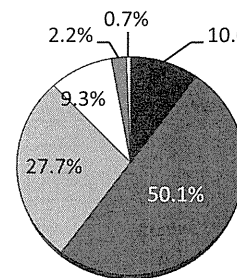


回答	%
十分にできる	11.1
できる	51.6
どちらともいえない	28.2
できない	7.4
全くできない	1.5
無回答	0.2

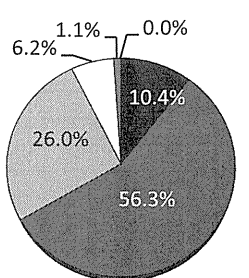


回答	%
十分にできる	10.1
できる	54.7
どちらともいえない	26.5
できない	7.5
全くできない	1.2
無回答	0.0

食品成分表の特性を理解し、献立作成や栄養教育に活用する 〔院生用 問20、初任者用 問24〕



回答	%
十分にできる	10.0
できる	50.1
どちらともいえない	27.7
できない	9.3
全くできない	2.2
無回答	0.7



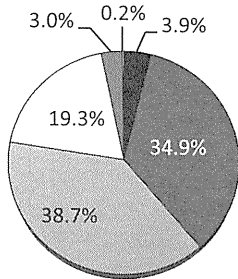
回答	%
十分にできる	10.4
できる	56.3
どちらともいえない	26.0
できない	6.2
全くできない	1.1
無回答	0.0

図4-4 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[4]

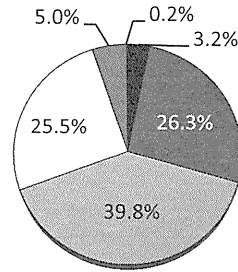
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

対象者の行動変容を促すために、行動科学の理論やモデルを活用する〔院生用 問21、初任者用 問25〕

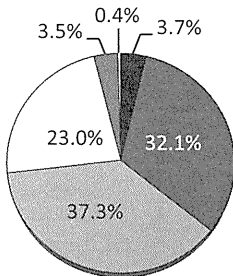


回答	%
十分にできる	3.9
できる	34.9
どちらともいえない	38.7
できない	19.3
全くできない	3.0
無回答	0.2

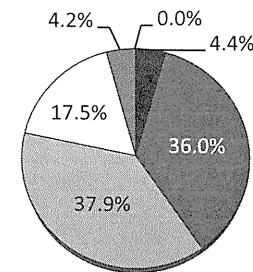


回答	%
十分にできる	3.2
できる	26.3
どちらともいえない	39.8
できない	25.5
全くできない	5.0
無回答	0.2

対象者の状況を受容し、行動変容を促すために、カウンセリングのスキルを活用する〔院生用 問22、初任者用 問26〕

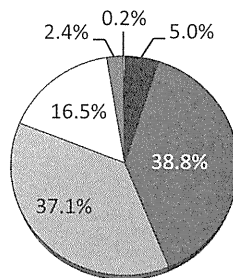


回答	%
十分にできる	3.7
できる	32.1
どちらともいえない	37.3
できない	23.0
全くできない	3.5
無回答	0.4

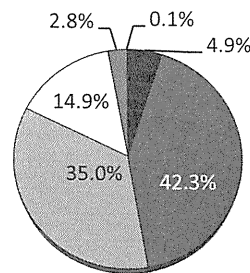


回答	%
十分にできる	4.4
できる	36.0
どちらともいえない	37.9
できない	17.5
全くできない	4.2
無回答	0.0

目的や対象者に応じた食事調査法を選択・実施し、アセスメントに用いる〔院生用 問23、初任者用 問27〕

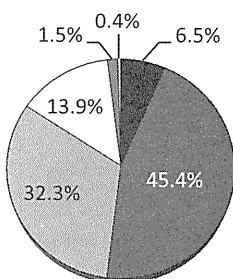


回答	%
十分にできる	5.0
できる	38.8
どちらともいえない	37.1
できない	16.5
全くできない	2.4
無回答	0.2

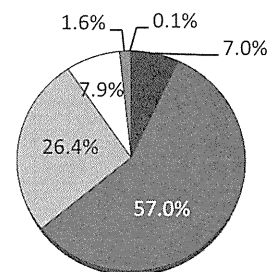


回答	%
十分にできる	4.9
できる	42.3
どちらともいえない	35.0
できない	14.9
全くできない	2.8
無回答	0.1

対象者・喫食者の食に関する知識、態度、行動をアセスメントする〔院生用 問24、初任者用 問28〕



回答	%
十分にできる	6.5
できる	45.4
どちらともいえない	32.3
できない	13.9
全くできない	1.5
無回答	0.4



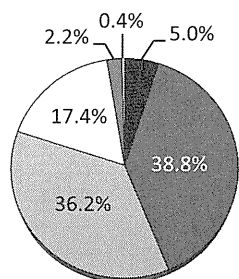
回答	%
十分にできる	7.0
できる	57.0
どちらともいえない	26.4
できない	7.9
全くできない	1.6
無回答	0.1

図4-5 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[5]

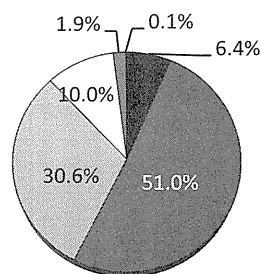
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

対象者の身体状況や目的に応じたアセスメント方法を選択し、実施する [院生用 問25、初任者用 問29]

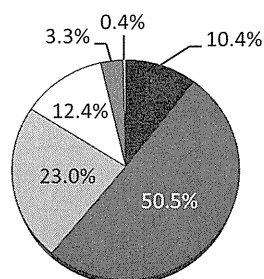


回答	%
十分に行える	5.0
できる	38.8
どちらともいえない	36.2
できない	17.4
全くできない	2.2
無回答	0.4

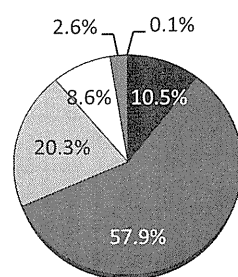


回答	%
十分に行える	6.4
できる	51.0
どちらともいえない	30.6
できない	10.0
全くできない	1.9
無回答	0.1

血液及び尿中の代表的な生化学成分値を判定し、アセスメントに用いる [院生用 問26、初任者用 問30]

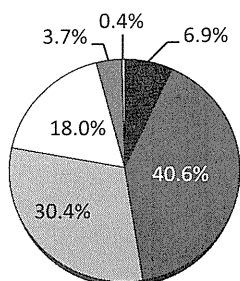


回答	%
十分に行える	10.4
できる	50.5
どちらともいえない	23.0
できない	12.4
全くできない	3.3
無回答	0.4

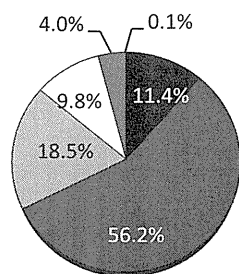


回答	%
十分に行える	10.5
できる	57.9
どちらともいえない	20.3
できない	8.6
全くできない	2.6
無回答	0.1

問診、カルテ、看護記録やバイタルサインなどの情報をアセスメントに活用する [院生用 問27、初任者用 問31]

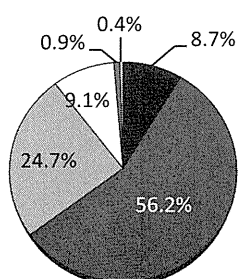


回答	%
十分に行える	6.9
できる	40.6
どちらともいえない	30.4
できない	18.0
全くできない	3.7
無回答	0.4

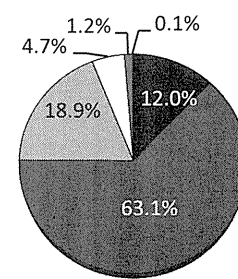


回答	%
十分に行える	11.4
できる	56.2
どちらともいえない	18.5
できない	9.8
全くできない	4.0
無回答	0.1

アセスメントの結果から食生活の改善すべき課題を抽出する [院生用 問28、初任者用 問32]



回答	%
十分に行える	8.7
できる	56.2
どちらともいえない	24.7
できない	9.1
全くできない	0.9
無回答	0.4



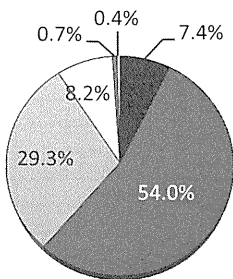
回答	%
十分に行える	12.0
できる	63.1
どちらともいえない	18.9
できない	4.7
全くできない	1.2
無回答	0.1

図4-6 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[6]

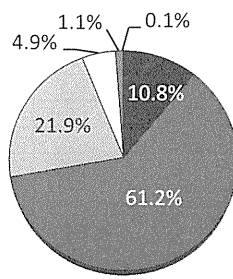
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

課題の中から優先順位を決定し、食生活改善のための目標を設定する〔院生用 問29、初任者用 問33〕

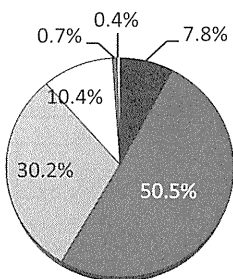


回答	%
十分にできる	7.4
できる	54.0
どちらともいえない	29.3
できない	8.2
全くできない	0.7
無回答	0.4

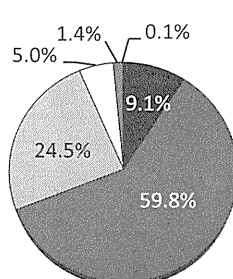


回答	%
十分にできる	10.8
できる	61.2
どちらともいえない	21.9
できない	4.9
全くできない	1.1
無回答	0.1

食生活改善のための目標の達成に向けた計画を立てる〔院生用 問30、初任者用 問34〕

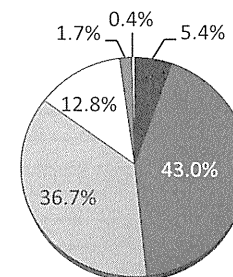


回答	%
十分にできる	7.8
できる	50.5
どちらともいえない	30.2
できない	10.4
全くできない	0.7
無回答	0.4

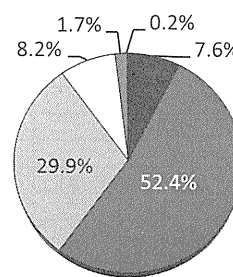


回答	%
十分にできる	9.1
できる	59.8
どちらともいえない	24.5
できない	5.0
全くできない	1.4
無回答	0.1

対象者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を実施する〔院生用 問31、初任者用 問35〕

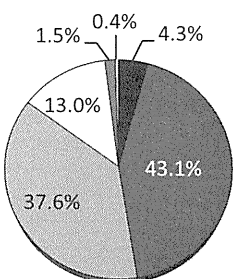


回答	%
十分にできる	5.4
できる	43.0
どちらともいえない	36.7
できない	12.8
全くできない	1.7
無回答	0.4

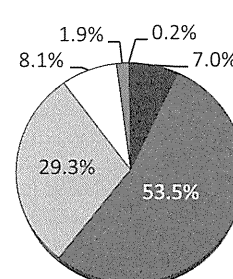


回答	%
十分にできる	7.6
できる	52.4
どちらともいえない	29.9
できない	8.2
全くできない	1.7
無回答	0.2

計画実施中や実施後の経過をモニタリングし、評価を行う〔院生用 問32、初任者用 問36〕



回答	%
十分にできる	4.3
できる	43.2
どちらともいえない	37.6
できない	13.0
全くできない	1.5
無回答	0.4



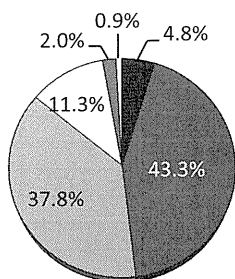
回答	%
十分にできる	7.0
できる	53.5
どちらともいえない	29.3
できない	8.1
全くできない	1.9
無回答	0.2

図4-7 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較〔7〕

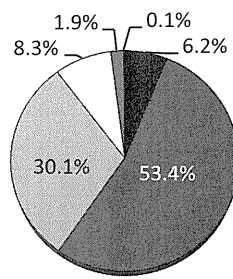
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

評価に基づき、必要な計画の見直しと修正を行う〔院生用 問33、初任者用 問37〕

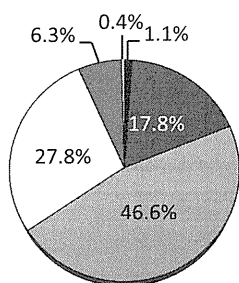


回答	%
十分ができる	4.8
できる	43.3
どちらともいえない	37.7
できない	11.3
全くできない	2.0
無回答	0.9

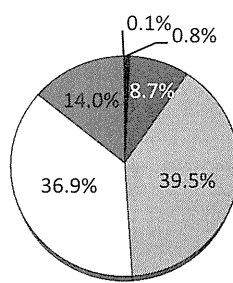


回答	%
十分ができる	6.2
できる	53.4
どちらともいえない	30.1
できない	8.3
全くできない	1.9
無回答	0.1

疫学的な考え方に基づき、地域のアセスメントをする〔院生用 問34、初任者用 問38〕

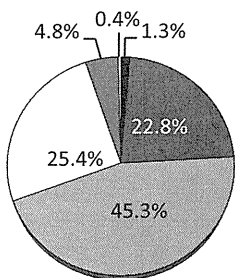


回答	%
十分ができる	1.1
できる	17.8
どちらともいえない	46.6
できない	27.8
全くできない	6.3
無回答	0.4

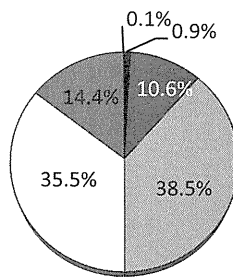


回答	%
十分ができる	0.8
できる	8.7
どちらともいえない	39.5
できない	36.9
全くできない	14.0
無回答	0.1

地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する〔院生用 問35、初任者用 問39〕

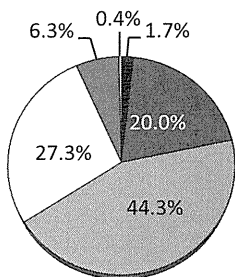


回答	%
十分ができる	1.3
できる	22.8
どちらともいえない	45.3
できない	25.4
全くできない	4.8
無回答	0.4

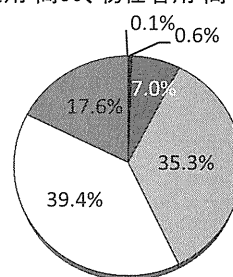


回答	%
十分ができる	0.9
できる	10.6
どちらともいえない	38.5
できない	35.5
全くできない	14.4
無回答	0.1

地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる〔院生用 問36、初任者用 問40〕



回答	%
十分ができる	1.7
できる	20.0
どちらともいえない	44.3
できない	27.3
全くできない	6.3
無回答	0.4



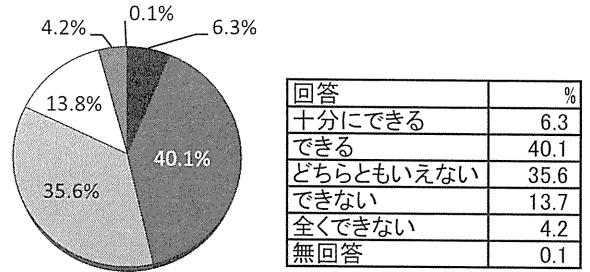
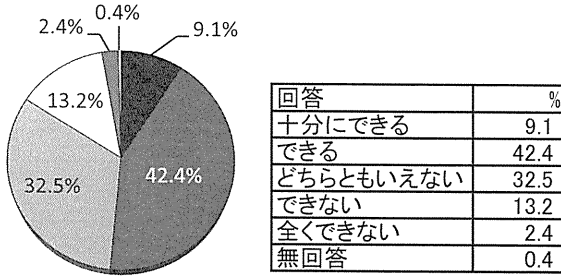
回答	%
十分ができる	0.6
できる	7.0
どちらともいえない	35.3
できない	39.4
全くできない	17.6
無回答	0.1

図4-8 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[8]

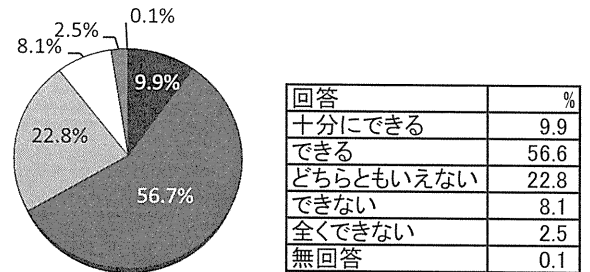
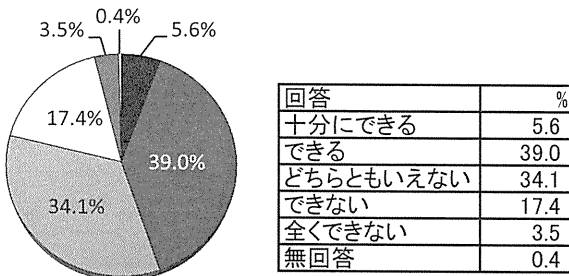
大学院生の回答 (n = 461)

実践現場の初任者の回答 (n = 3,055)

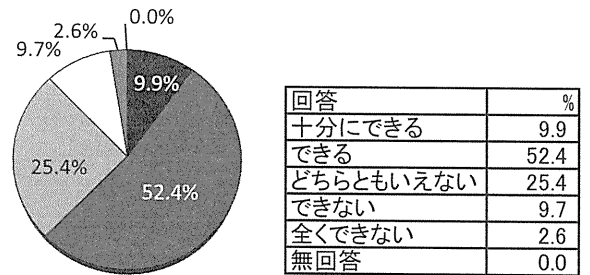
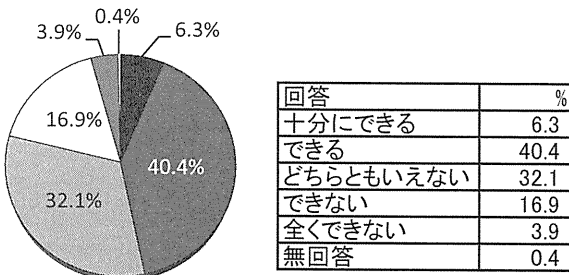
医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う [院生用 問37、初任者用 問43]



対象者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う [院生用 問38、初任者用 問44]



対象者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う [院生用 問39、初任者用 問45]



多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う [院生用 問40、初任者用 問51]

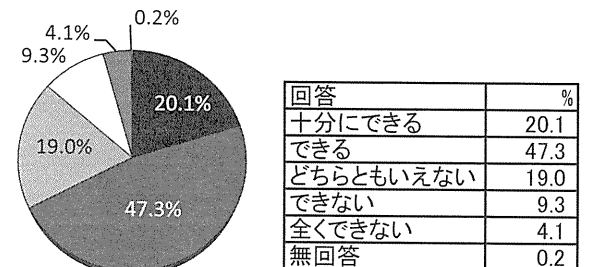
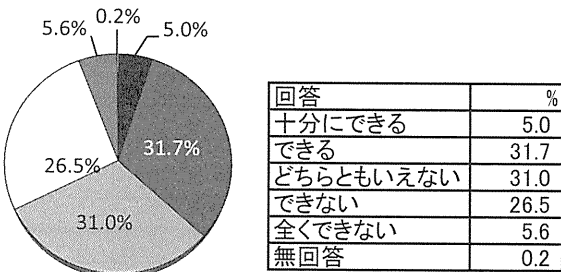


図4-9 共通・職域別キャリアコンピテンシーの到達度に関する大学院生と実践現場の初任者の回答の比較[9]

大学院生と実践現場の初任者に関するデータ

付表1 大学院生及び実践現場の初任者の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布比較

			大学院生全員 (性別不明者1名を含む)		実践現場の初任者全員 (性別不明者17名を含む)	
人数			461		3055	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
1	管理栄養士という職業に就くこと(就いていること)を誇りに思う	全くそう思わない	9	2.0%	34	1.1%
		そう思わない	45	9.8%	167	5.5%
		どちらともいえない	134	29.1%	661	21.6%
		そう思う	198	43.0%	1635	53.5%
		かなりそう思う	75	16.3%	556	18.2%
		無回答	0	0.0%	2	0.1%
2	自分は、管理栄養士という職業に向いている	全くそう思わない	27	5.9%	79	2.6%
		そう思わない	105	22.8%	433	14.2%
		どちらともいえない	200	43.4%	1412	46.2%
		そう思う	112	24.3%	987	32.3%
		かなりそう思う	17	3.7%	144	4.7%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%
3	食を通して人々の健康と幸せに寄与したい	全くそう思わない	4	0.9%	18	0.6%
		そう思わない	6	1.3%	50	1.6%
		どちらともいえない	20	4.3%	146	4.8%
		そう思う	159	34.5%	1442	47.2%
		かなりそう思う	272	59.0%	1399	45.8%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%
4	管理栄養士としての専門的な知識と技術を向上させたい(知識と技術のための自己研鑽に努めたい)	全くそう思わない	2	0.4%	20	0.7%
		そう思わない	16	3.5%	46	1.5%
		どちらともいえない	40	8.7%	172	5.6%
		そう思う	161	34.9%	1480	48.4%
		かなりそう思う	242	52.5%	1336	43.7%
		無回答	0	0.0%	1	0.0%
5	コミュニケーションによって、良好な人間関係やネットワークを築く	全くできない	8	1.7%	18	0.6%
		できない	29	6.3%	151	4.9%
		どちらともいえない	107	23.2%	777	25.4%
		できる	252	54.7%	1781	58.3%
		十分にできる	64	13.9%	312	10.2%
		無回答	1	0.2%	16	0.5%
6	自分に与えられた役割を認識し、他の職種と相互理解しながら協働する	全くできない	3	0.7%	13	0.4%
		できない	23	5.0%	109	3.6%
		どちらともいえない	110	23.9%	609	19.9%
		できる	274	59.4%	2031	66.5%
		十分にできる	49	10.6%	293	9.6%
		無回答	2	0.4%	0	0.0%
7	患者・クライアント・住民への倫理的配慮(人権の尊重、インフォームドコンセント、個人情報保護)を行う	全くできない	4	0.9%	20	0.7%
		できない	26	5.6%	90	2.9%
		どちらともいえない	111	24.1%	513	16.8%
		できる	226	49.0%	1833	60.0%
		十分にできる	92	20.0%	598	19.6%
		無回答	2	0.4%	1	0.0%
8	健康・栄養に関する統計情報を収集し、現状を把握する	全くできない	11	2.4%	74	2.4%
		できない	50	10.8%	461	15.1%
		どちらともいえない	139	30.2%	1166	38.2%
		できる	216	46.9%	1242	40.7%
		十分にできる	43	9.3%	111	3.6%
		無回答	2	0.4%	1	0.0%
9	関連分野の論文・報告書などからエビデンスに基づく情報を入手し、活用する	全くできない	6	1.3%	151	4.9%
		できない	18	3.9%	639	20.9%
		どちらともいえない	117	25.4%	1157	37.9%
		できる	253	54.9%	998	32.7%
		十分にできる	65	14.1%	108	3.5%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%

付表1 大学院生と実践現場の初任者の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布比較(続き)

			大学院生全員 (性別不明者1名を含む)		実践現場の初任者全員 (性別不明者17名を含む)	
人数			461		3055	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
10	社会における医療・栄養問題や食料・環境問題に関する情報を集める	全くできない	6	1.3%	85	2.8%
		できない	24	5.2%	492	16.1%
		どちらともいえない	127	27.5%	1133	37.1%
		できる	252	54.7%	1267	41.5%
		十分にできる	50	10.8%	73	2.4%
		無回答	2	0.4%	5	0.2%
11	個人や地域の栄養課題の解決のために、調査研究を計画・実施する	全くできない	20	4.3%	447	14.6%
		できない	86	18.7%	1005	32.9%
		どちらともいえない	182	39.5%	1056	34.6%
		できる	158	34.3%	507	16.6%
		十分にできる	13	2.8%	37	1.2%
		無回答	2	0.4%	3	0.1%
12	調査研究により得られたデータについて、適切な集計・統計方法を選択し、解析する	全くできない	22	4.8%	430	14.1%
		できない	95	20.6%	983	32.2%
		どちらともいえない	196	42.5%	1063	34.8%
		できる	125	27.1%	519	17.0%
		十分にできる	21	4.6%	55	1.8%
		無回答	2	0.4%	5	0.2%
13	人体のエネルギーバランスや各栄養素の働きや代謝を理解し、説明を行う	全くできない	6	1.3%	60	2.0%
		できない	48	10.4%	410	13.4%
		どちらともいえない	122	26.5%	1185	38.8%
		できる	226	49.0%	1289	42.2%
		十分にできる	57	12.4%	111	3.6%
		無回答	2	0.4%	0	0.0%
14	食品成分・特性について理解し、献立作成や調理を行う	全くできない	25	5.4%	39	1.3%
		できない	76	16.5%	252	8.2%
		どちらともいえない	144	31.2%	829	27.1%
		できる	182	39.5%	1670	54.7%
		十分にできる	31	6.7%	264	8.6%
		無回答	3	0.7%	1	0.0%
15	対象者のライフステージ・ライフスタイル・嗜好・摂食機能等に応じた献立を作成する	全くできない	20	4.3%	49	1.6%
		できない	93	20.2%	250	8.2%
		どちらともいえない	144	31.2%	766	25.1%
		できる	170	36.9%	1714	56.1%
		十分にできる	32	6.9%	275	9.0%
		無回答	2	0.4%	1	0.0%
16	食中毒予防など、適切な衛生管理を行う	全くできない	4	0.9%	16	0.5%
		できない	35	7.6%	84	2.7%
		どちらともいえない	101	21.9%	433	14.2%
		できる	250	54.2%	1880	61.5%
		十分にできる	70	15.2%	640	20.9%
		無回答	1	0.2%	2	0.1%
17	食品の規格基準、安全に関する法規や制度を理解し、健康被害を防止する為の説明を行う	全くできない	16	3.5%	137	4.5%
		できない	94	20.4%	812	26.6%
		どちらともいえない	194	42.1%	1291	42.3%
		できる	130	28.2%	756	24.7%
		十分にできる	26	5.6%	57	1.9%
		無回答	1	0.2%	2	0.1%
18	保健・医療・福祉・健康づくりに関する法規や制度の現状を把握する	全くできない	19	4.1%	87	2.8%
		できない	75	16.3%	577	18.9%
		どちらともいえない	185	40.1%	1371	44.9%
		できる	161	34.9%	963	31.5%
		十分にできる	20	4.3%	55	1.8%
		無回答	1	0.2%	2	0.1%

付表1 大学院生と実践現場の初任者の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布比較(続き)

No.	質問内容	回答内容	大学院生全員 (性別不明者1名を含む)		実践現場の初任者全員 (性別不明者17名を含む)	
			人数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
			461		3055	
19	対象者(対象集団)のエネルギーや栄養素の摂取の過不足を防ぐため、食事摂取基準を活用する	全くできない	7	1.5%	36	1.2%
		できない	34	7.4%	229	7.5%
		どちらともいえない	130	28.2%	810	26.5%
		できる	238	51.6%	1670	54.7%
		十分にできる	51	11.1%	309	10.1%
		無回答	1	0.2%	1	0.0%
20	食品成分表の特性を理解し、献立作成や栄養教育に活用する	全くできない	10	2.2%	33	1.1%
		できない	43	9.3%	190	6.2%
		どちらともいえない	128	27.8%	795	26.0%
		できる	231	50.1%	1718	56.2%
		十分にできる	46	10.0%	318	10.4%
		無回答	3	0.7%	1	0.0%
21	対象者の行動変容を促すために、行動科学の理論やモデルを活用する	全くできない	14	3.0%	153	5.0%
		できない	89	19.3%	780	25.5%
		どちらともいえない	178	38.6%	1218	39.9%
		できる	161	34.9%	802	26.3%
		十分にできる	18	3.9%	97	3.2%
		無回答	1	0.2%	5	0.2%
22	対象者の状況を受容し、行動変容を促すために、カウンセリングのスキルを活用する	全くできない	16	3.5%	129	4.2%
		できない	106	23.0%	534	17.5%
		どちらともいえない	172	37.3%	1157	37.9%
		できる	148	32.1%	1100	36.0%
		十分にできる	17	3.7%	134	4.4%
		無回答	2	0.4%	1	0.0%
23	目的や対象者に応じた食事調査法を選択・実施し、アセスメントに用いる	全くできない	11	2.4%	85	2.8%
		できない	76	16.5%	455	14.9%
		どちらともいえない	171	37.1%	1068	35.0%
		できる	179	38.8%	1292	42.3%
		十分にできる	23	5.0%	151	4.9%
		無回答	1	0.2%	4	0.1%
24	対象者・喫食者の食に関する知識、態度、行動をアセスメントする	全くできない	7	1.5%	49	1.6%
		できない	64	13.9%	241	7.9%
		どちらともいえない	149	32.3%	807	26.4%
		できる	209	45.3%	1742	57.0%
		十分にできる	30	6.5%	213	7.0%
		無回答	2	0.4%	3	0.1%
25	対象者の身体状況や目的に応じたアセスメント方法を選択し、実施する	全くできない	10	2.2%	57	1.9%
		できない	80	17.4%	306	10.0%
		どちらともいえない	167	36.2%	934	30.6%
		できる	179	38.8%	1557	51.0%
		十分にできる	23	5.0%	197	6.4%
		無回答	2	0.4%	4	0.1%
26	血液及び尿中の代表的な生化学成分値を判定し、アセスメントに用いる	全くできない	15	3.3%	79	2.6%
		できない	57	12.4%	262	8.6%
		どちらともいえない	106	23.0%	621	20.3%
		できる	233	50.5%	1769	57.9%
		十分にできる	48	10.4%	322	10.5%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
27	問診、カルテ、看護記録やバイタルサインなどの情報をアセスメントに活用する	全くできない	17	3.7%	123	4.0%
		できない	83	18.0%	300	9.8%
		どちらともいえない	140	30.4%	564	18.5%
		できる	187	40.6%	1717	56.2%
		十分にできる	32	6.9%	349	11.4%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%

付表1 大学院生と実践現場の初任者の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布比較(続き)

		大学院生全員 (性別不明者1名を含む)		実践現場の初任者全員 (性別不明者17名を含む)		
		人数		人数		
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
28	アセスメントの結果から食生活の改善すべき課題を抽出する	全くできない	4	0.9%	37	1.2%
		できない	42	9.1%	145	4.7%
		どちらともいえない	114	24.7%	575	18.8%
		できる	259	56.2%	1928	63.1%
		十分にできる	40	8.7%	368	12.0%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
29	課題の中から優先順位を決定し、食生活改善のための目標を設定する	全くできない	3	0.7%	34	1.1%
		できない	38	8.2%	149	4.9%
		どちらともいえない	135	29.3%	668	21.9%
		できる	249	54.0%	1871	61.2%
		十分にできる	34	7.4%	331	10.8%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
30	食生活改善のための目標の達成に向けた計画を立てる	全くできない	3	0.7%	44	1.4%
		できない	48	10.4%	152	5.0%
		どちらともいえない	139	30.2%	750	24.5%
		できる	233	50.5%	1828	59.8%
		十分にできる	36	7.8%	279	9.1%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
31	対象者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を実施する	全くできない	8	1.7%	53	1.7%
		できない	59	12.8%	249	8.2%
		どちらともいえない	169	36.7%	915	30.0%
		できる	198	43.0%	1601	52.4%
		十分にできる	25	5.4%	232	7.6%
		無回答	2	0.4%	5	0.2%
32	計画実施中や実施後の経過をモニタリングし、評価を行う	全くできない	7	1.5%	57	1.9%
		できない	60	13.0%	248	8.1%
		どちらともいえない	173	37.5%	896	29.3%
		できる	199	43.2%	1634	53.5%
		十分にできる	20	4.3%	215	7.0%
		無回答	2	0.4%	5	0.2%
33	評価に基づき、必要な計画の見直しと修正を行う	全くできない	9	2.0%	58	1.9%
		できない	52	11.3%	254	8.3%
		どちらともいえない	174	37.7%	920	30.1%
		できる	200	43.4%	1629	53.3%
		十分にできる	22	4.8%	190	6.2%
		無回答	4	0.9%	4	0.1%
34	疫学的な考え方にに基づき、地域のアセスメントをする	全くできない	29	6.3%	427	14.0%
		できない	128	27.8%	1128	36.9%
		どちらともいえない	215	46.6%	1207	39.5%
		できる	82	17.8%	266	8.7%
		十分にできる	5	1.1%	23	0.8%
		無回答	2	0.4%	4	0.1%
35	地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する	全くできない	22	4.8%	441	14.4%
		できない	117	25.4%	1083	35.5%
		どちらともいえない	209	45.3%	1177	38.5%
		できる	105	22.8%	324	10.6%
		十分にできる	6	1.3%	26	0.9%
		無回答	2	0.4%	4	0.1%
36	地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる	全くできない	29	6.3%	539	17.6%
		できない	126	27.3%	1204	39.4%
		どちらともいえない	204	44.3%	1077	35.3%
		できる	92	20.0%	215	7.0%
		十分にできる	8	1.7%	17	0.6%
		無回答	2	0.4%	3	0.1%

付表1 大学院生と実践現場の初任者の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布比較(続き)

		大学院生全員 (性別不明者1名を含む)		実践現場の初任者全員 (性別不明者17名を含む)		
		人数		人数		
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
37	医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う	全くできない	11	2.4%	127	4.2%
		できない	61	13.2%	420	13.7%
		どちらともいえない	150	32.5%	1088	35.6%
		できる	195	42.3%	1227	40.2%
		十分にできる	42	9.1%	191	6.3%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
38	対象者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う	全くできない	16	3.5%	75	2.5%
		できない	80	17.4%	246	8.1%
		どちらともいえない	157	34.1%	700	22.9%
		できる	180	39.0%	1731	56.7%
		十分にできる	26	5.6%	301	9.9%
		無回答	2	0.4%	2	0.1%
39	対象者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う	全くできない	18	3.9%	78	2.6%
		できない	78	16.9%	295	9.7%
		どちらともいえない	148	32.1%	775	25.4%
		できる	186	40.3%	1603	52.5%
		十分にできる	29	6.3%	303	9.9%
		無回答	2	0.4%	1	0.0%
40	多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う	全くできない	26	5.6%	126	4.1%
		できない	122	26.5%	285	9.3%
		どちらともいえない	143	31.0%	579	19.0%
		できる	146	31.7%	1444	47.3%
		十分にできる	23	5.0%	615	20.1%
		無回答	1	0.2%	6	0.2%

付表2 大学院生の基礎データ

			全員	
			人数	461
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ
41	年齢をお答え下さい。	21-25歳	358	77.7%
		26-30歳	21	4.6%
		31-35歳	19	4.1%
		36-40歳	22	4.8%
		41歳以上	41	8.9%
		無回答	0	0.0%

42	性別をお答えください。	女性	370	80.3%
		男性	90	19.5%
		無回答	1	0.2%

43	大学院での在籍年数をお答えください。	1年目	236	51.2%
		2年目	215	46.6%
		3年目	9	2.0%
		4年目	1	0.2%
		無回答	0	0.0%

44	管理栄養士養成施設の卒業生ですか。	はい	408	88.5%
		いいえ	49	10.6%
		無回答	4	0.9%

↓

45	管理栄養士養成施設の卒業生(44で「1」とお答えの方)におたずねします。卒業年度は次のどちらですか。	平成16年度(平成17年3月卒業)以前	35	8.6%
		平成17年度(平成18年3月卒業)以降	372	91.2%
		無回答	1	0.2%

46	卒業した大学または養成施設において、卒業研究を行いましたか。	はい	397	86.1%
		いいえ	51	11.1%
		無回答	13	2.8%

47	社会人院生ですか。	はい	84	18.2%
		いいえ	366	79.4%
		無回答	11	2.4%

↓

48	社会人院生(47で「1」とお答えの方)におたずねします。管理栄養士(栄養士養成施設の教員を含む)として働いていますか。	はい	62	73.8%
		いいえ	21	25.0%
		無回答	1	1.2%

付表2 大学院生の基礎データ(続き)

			全員	
			人数	461
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ
49	あなたの修士論文(または課題研究)のテーマは、次のどの分野にあてはまりますか。	栄養教育	21	4.6%
		公衆栄養	47	10.2%
		臨床栄養	88	19.1%
		給食経営管理	6	1.3%
		1~4以外	298	64.6%
		無回答	1	0.2%
50	あなたの指導教員は、管理栄養士免許を有する教員ですか。	はい	176	38.2%
		いいえ	283	61.4%
		無回答	2	0.4%
51	あなたが所属するコースの人材養成の特徴について、あてはまるものを1つ選んでください。	教育者・研究者養成	193	41.9%
		高度専門職業人養成	88	19.1%
		どちらともいえない	112	24.3%
		不明	64	13.9%
		無回答	4	0.9%
52	あなたは、現在日本栄養士会に入会していますか。	はい	104	22.6%
		いいえ	355	77.0%
		無回答	2	0.4%
53	現在、健康・医療もしくは食・栄養に関する学会(研究会)に入会していますか。	はい	328	71.1%
		いいえ	132	28.6%
		無回答	1	0.2%
54	大学院在籍中に、上記の学会の学術集会や地方会において、発表をしたことがありますか。	第一著者として発表したことがある	237	51.4%
		第一著者として発表したことはないが、研究グループのひとりとして共著で発表したことがある	38	8.2%
		発表したことはない	184	39.9%
		無回答	2	0.4%
55	大学院在籍中に、上記の学会の学会誌に論文を投稿したことがありますか。	第一著者として投稿したことがある	34	7.4%
		第一著者として投稿したことはないが、研究グループのひとりとして共著で投稿したことがある	33	7.2%
		投稿したことはない	391	84.8%
		無回答	3	0.7%

付表2 大学院生の基礎データ(続き)

			全員	
			人数	461
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ
56	修士課程終了後は、どのような進路を希望(あるいは内定)していますか。※社会人院生の方で現在の仕事を続ける場合も「2 就職」を選んでください。	進学	36	7.8%
		就職	403	87.4%
		その他	17	3.7%
		無回答	5	1.1%
57	進学希望の方(56で「1」とお答えの方)におたずねします。あなたの進学希望先をお答えください。	博士課程(栄養関連分野)	29	80.6%
		博士課程(栄養関連分野以外)	6	16.7%
		その他	1	2.8%
		無回答	0	0.0%
58	就職希望の方(56で「2」とお答えの方)におたずねします。あなたが希望、あるいは内定している就職先で、採用条件となる免許は次のどれですか。	管理栄養士免許	193	47.9%
		栄養士免許	10	2.5%
		その他の免許	22	5.5%
		免許は採用条件ではない	158	39.2%
		無回答	20	5.0%
59	就職希望の方におたずねします。あなたが就職を希望、あるいは内定している職場を下からひとつ選び、59~60のマークシート欄に、記入例にならって記入してください。 ※社会人院生の方は、現在の職場をお答えください。	行政(保健所・保健センターなど)	40	9.9%
		病院(病院・医院・老健など)、検診センター	92	22.8%
		学校(幼稚園・学校・給食センターなど)	18	4.5%
		企業または事業所(従業員の健康管理など)	5	1.2%
		給食受託企業(給食会社)	11	2.7%
		高齢者福祉施設(老人ホーム・デイサービスセンターなど)	4	1.0%
		児童福祉施設(保育所など)	1	0.2%
		障がい者施設(心身障がい児施設・身体障がい者療護施設など)	0	0.0%
		その他の福祉施設	0	0.0%
		企業(栄養や食品に関連がある仕事)	117	29.0%
		企業(製薬会社・薬局など)	23	5.7%
		企業(上記以外)	10	2.5%
		起業	3	0.7%
		自営	1	0.2%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設)	44	10.9%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設以外)	2	0.5%
		研究機関	9	2.2%
配属先未定(公務員)	11	2.7%		
配属先未定(公務員以外)	2	0.5%		
その他	8	2.0%		
無回答	2	0.5%		

付表3 実践現場の初任者の基礎データ

No.	質問内容	回答内容	全員	
			人数	3055
			回答数	パーセンテージ
59	年齢をお答え下さい。	22-23歳	132	4.3%
		24-25歳	560	18.3%
		26-27歳	843	27.6%
		28-29歳	915	30.0%
		30歳以上	598	19.6%
		無回答	7	0.2%
60	性別をお答えください。	女性	2899	94.9%
		男性	139	4.5%
		無回答	17	0.6%
61	あなたが所属する、日本栄養士会職域協議会は、次のどれですか。	病院	1585	51.9%
		福祉	663	21.7%
		行政	269	8.8%
		学校	167	5.5%
		1～4以外	334	10.9%
		無回答	37	1.2%
62	61で「5」とお答えの方におたずねします。所属する職域協議会は次の1～4のどれですか。	地域活動	132	39.5%
		集団健康管理	83	24.9%
		研究教育	90	26.9%
		不明	25	7.5%
		無回答	4	1.2%
63	あなたが所属する、日本栄養士会のブロックは、次のどれですか。	北海道・東北	394	12.9%
		関東甲信越	772	25.3%
		東海・北陸	460	15.1%
		近畿	463	15.2%
		1～4以外	918	30.0%
		無回答	48	1.6%
64	63で「5」とお答えの方におたずねします。所属するブロックは次のどれですか。	中国・四国	439	47.8%
		九州	469	51.1%
		無回答	10	1.1%
65	管理栄養士養成施設の卒業生ですか。	はい	2510	82.2%
		いいえ	530	17.3%
		無回答	15	0.5%
66	管理栄養士養成施設の卒業生(65で「1」とお答えの方)におたずねします。卒業年次は何年ですか。	平成16年度以前	787	31.4%
		平成17年度以降	1702	67.8%
		無回答	21	0.8%
67	卒業した大学または養成施設において、卒業研究を行いましたか。	はい	2417	79.1%
		いいえ	620	20.3%
		無回答	18	0.6%
68	学位(最終)をお答えください。	学士	2302	75.4%
		修士	242	7.9%
		博士	18	0.6%
		その他	396	13.0%
		無回答	97	3.2%

付表3 実践現場の初任者の基礎データ(続き)

			全員	
			人数	3055
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ
69	現在、大学院に在学中ですか。	はい(修士課程に在学中)	18	0.6%
		はい(博士課程に在学中)	30	1.0%
		いいえ	2958	96.8%
		無回答	49	1.6%
70	現在の仕事での勤務年数は何年ですか。(本年度も1年と数えてください)。	1～2年	892	29.2%
		3～4年	946	31.0%
		5～6年	714	23.4%
		7～8年	376	12.3%
		9年以上	87	2.8%
		無回答	40	1.3%
71	管理栄養士・栄養士としての総勤務年数は何年ですか。(本年度も1年と数えてください)。	1～2年	442	14.5%
		3～4年	779	25.5%
		5～6年	928	30.4%
		7～8年	669	21.9%
		9年以上	217	7.1%
		無回答	20	0.7%
72	現在の仕事の採用条件である免許は次のどれですか。	管理栄養士免許	2467	80.8%
		栄養士免許	447	14.6%
		その他の免許	19	0.6%
		免許は採用条件ではない	81	2.7%
		無回答	41	1.3%
73	栄養士会の生涯学習に、過去1年間でどの程度参加しましたか。	0回	1280	41.9%
		1回	506	16.6%
		2回	388	12.7%
		3回	243	8.0%
		4回以上	625	20.5%
		無回答	13	0.4%
74	現在、健康・医療もしくは食・栄養に関する学会(研究会)に入会していますか。	はい	1035	33.9%
		いいえ	2008	65.7%
		無回答	12	0.4%
75	上記の学会の学術集会や地方会に、過去1年間でどの程度参加しましたか。	0回	1646	53.9%
		1回	563	18.4%
		2回	322	10.5%
		3回	168	5.5%
		4回以上	217	7.1%
		無回答	139	4.5%
76	上記の学会の学術集会や地方会において、発表をしたことがありますか。	第一著者として発表したことがある	429	14.0%
		第一著者で発表したことはないが、研究グループのひとりとして共著で発表したことがある	203	6.6%
		発表したことはない	2290	75.0%
		無回答	133	4.4%
77	上記の学会の学会誌に論文を投稿したことがありますか。	第一著者として投稿したことがある	87	2.8%
		第一著者で投稿したことはないが、研究グループのひとりとして共著で投稿したことがある	148	4.8%
		投稿したことはない	2685	87.9%
		無回答	135	4.4%

付表3 実践現場の初任者の基礎データ(続き)

No.	質問内容	回答内容	全員	
			人数	3055
			回答数	パーセンテージ
78	あなたの現在の職場における、雇用形態は次のどれですか。	常勤	2659	87.0%
		非常勤(嘱託、パートタイマーを含む)	258	8.4%
		職業に就いていない	110	3.6%
		無回答	28	0.9%
79	あなたの現在の職場では、管理栄養士の配置は1名(1人職種)ですか、複数配置ですか。	1人職種	952	32.6%
		複数配置(同一職場内)	1697	58.2%
		複数配置だが、勤務場所では1人で仕事をしている	159	5.5%
		その他	103	3.5%
		無回答	6	0.2%
80	先輩管理栄養士から業務に関する指導を受けていますか(職場が同一でない場合も含みます)。	はい	1855	63.6%
		いいえ	1049	36.0%
		無回答	13	0.4%
81	あなたが現在勤務する職場を下からひとつ選び、81~82のマークシート欄に、記入例にならって記入してください。複数の職場にまたがる場合は、主な職場をお答えください。	行政(保育所・保険センターなど)	280	9.6%
		病院(病院・医院・老健など)、検診センター	1586	54.4%
		学校(幼稚園・学校・給食センターなど)	151	5.2%
		企業または事務所(従業員の健康管理など)	28	1.0%
		給食受託企業(給食会社)	96	3.3%
		高齢者福祉施設(老人ホーム・デイサービスセンターなど)	381	13.1%
		児童福祉施設(保育所など)	85	2.9%
		障がい者施設(心身障がい児施設・身体障がい者療護施設など)	52	1.8%
		その他の福祉施設	3	0.1%
		企業(栄養や食品に関連がある仕事)	35	1.2%
		企業(製薬会社・薬局など)	23	0.8%
		企業(上記以外)	18	0.6%
		起業	2	0.1%
		自営	3	0.1%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設)	88	3.0%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設以外)	14	0.5%
		研究機関	5	0.2%
その他	28	1.0%		
無回答	39	1.3%		



平成23年10月吉日

〇〇大学

△△ 専攻長様

兵庫県立大学環境人間学部
教授 伊達 ちぐさ

管理栄養士教育システム構築に関する基礎調査のお願い(依頼)

秋冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成23年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)の交付を受け、「保健・医療の栄養管理サービスの評価に基づく専門的人材育成のシステム構築に関する研究(H22-循環器等(生習)-指定-016)」の主任研究者を務めさせていただいております。

本研究課題は、保健・医療サービスの場で、管理栄養士が栄養管理の専門職として、社会の要求に応えることができる人材に養成されるためのシステム構築を目的としています。昨年度は管理栄養士養成施設卒業時に修得しておくべきコンピテンシー(専門的な実践的能力)の到達度調査を実施させていただきましたが、本年度は管理栄養士の資格を有する大学院生を対象に同様の調査を実施することになりました。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、本調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本調査は個人の能力を調べるものではなく、住所・氏名等の個人を特定できる情報を収集しません。質問にはマークシートで回答していただきますが、マークシートの回収はご担当の先生にお願いいたしたく存じます。記入済のマークシート等は、当方よりお送りした封筒により返送していただくことにしていますが、封筒に貴大学名や住所・氏名等を記載していただく必要はございません。

尚、得られた情報は厳正に管理され、本研究事業の目的以外には使用されないことを申し添えます。